

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 5 月 14 日 (2015.5.14)

【公表番号】特表 2014-516771 (P2014-516771A)

【公表日】平成 26 年 7 月 17 日 (2014.7.17)

【年通号数】公開・登録公報 2014-038

【出願番号】特願 2014-508374 (P2014-508374)

【国際特許分類】

B 0 1 D 53/04 (2006.01)

B 0 1 D 53/62 (2006.01)

C 0 1 B 31/20 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 53/04 Z A B C

B 0 1 D 53/04 F

B 0 1 D 53/34 1 3 5 Z

C 0 1 B 31/20 B

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 3 月 27 日 (2015.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガス流から CO_2 を除去するための物品において、

第 1 端部から第 2 端部まで延在する複数のセルを画成する外面 および 50 パーセント超の気孔率を有する複数の交差壁であって、

第 1 群のセルにおける各セルを形成する前記壁が、バリア層により覆われて複数の熱交換流通路を形成しており、

前記第 1 群のセルとは異なる第 2 群のセルにおける各セルを形成する前記壁が、バリア層を持たず、 CO_2 収着剤物質を含み、反応流通路を形成している、
複数の交差壁を備えた物品。

【請求項 2】

収着剤物質の成形体を含む、請求項 1 記載の物品。

【請求項 3】

前記交差壁に固体収着剤が含浸されている、請求項 1 記載の物品。

【請求項 4】

平方インチ当たり 100 セル（平方センチメートル当たり約 15.5 セル）から平方インチ当たり 5000 セル（平方センチメートル当たり約 775 セル）のセル密度を有するハニカムの形態にある、請求項 1 から 3 いずれか 1 項記載の物品。

【請求項 5】

ガス流から CO_2 を除去する方法において、

CO_2 を含むガス流を、請求項 1 記載の物品の前記反応流通路に接触させ、それによって、該物品上に CO_2 を吸着させる工程；

前記物品の熱交換流通路に、 CO_2 の吸着により生じる熱を除去するように働く冷却流体を流す工程、および

請求項 1 記載の物品の前記熱交換流通路に加熱流体を流して、該物品の温度を上昇させ

、それによって、吸着された CO_2 を放出する工程、
を有してなる方法。